

「特別の教科 道徳」Q&A

「道徳」の評価はどうか？

Q 道徳が「特別の教科」になり、入試で「礼儀」や「思いやり」などが評価されるというのは本当ですか？道徳が評価されると、子どもが本音が言えなくなりますか？

A **道徳科の評価で、特定の考え方を押し付けたり、入試で使用したりはしません。**

「特別の教科 道徳」では、道徳的な価値を自分のこととしてとらえ、よく考え、議論する道徳へと転換し、特定の考え方に無批判に従うような子どもではなく、主体的に考え未来を切り拓く子どもを育てます。

- 教科書を使用し、9年間を通じて適切な学習が行えるようにします。
 - ・例えば、小学校低学年では、人の気持ちを考えさせ、「してはならないことがあるよ」などの基本を指導します。
 - ・その上で、道徳的な価値を自分のこととして考えるための、「考え、議論する道徳」へと転換します。
- 道徳科の学習状況や成長の様子を評価し指導の改善に生かしますが、入試には使いません。
 - ・「特別の教科 道徳」では、数値で評価して他の子どもたちと比較することはしません。
 - ・「礼儀」や「思いやり」などの個別の内容項目の評価はしないので、「礼儀正しいか、正しくないか」、「思いやりがあるか、ないか」などの観点から評価することはありません。
 - ・授業で自分のこととして考えている、他人の考えなどをしっかり受け止めているといった成長の様子を丁寧に見取り、「励まし、伸ばす」積極的評価を行います。

【リーフレットや道徳教育に関わるお問合せ】
日高管内教育委員会連絡協議会
事務局 日高教育局教育支援課義務教育指導班
TEL：0146-22-9493

道徳科の授業で、 子どもたち一人一人の 豊かな心を育みます。

これまでの道徳の授業（道徳の時間）は…

- 読み物の登場人物の気持ちを読み取ることが中心の指導
- 子どもたちに望ましいと思われることや分かりきったことを書かせたり、発表させたりすることが中心の授業などの課題が見られました。

学習指導要領の一部改正により、「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」（道徳科）として新たに位置付けられます。

【具体的なポイント】

- 教科書が導入され、全ての学校が確実に道徳の授業を実施します。
- いじめの問題への対応の充実などを図るため、小・中学校9年間ですべて体系的に学習します。
- 問題解決的な学習や体験的な学習を適切に取り入れ、指導方法を工夫します。
- 数値の評価ではなく、子どもたちのよさや成長の様子を見取ります。

**「考え、議論する」道徳の授業を実現し、
子どもたちの道徳性を育みます。**

小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から、道徳科が全面実施されます。（現在は、各学校において、指導計画の見直しや授業改善の取組が行われています。）

全ての小・中学校で

「特別の教科 道徳」が、

始まります。



自分の考えをもち、「考え、議論する」道徳科の授業を実現し、子どもたち一人一人の豊かな心を育みます。

日高管内教育委員会連絡協議会
日高管内道徳教育研究会

学校の教育活動全体を通じて育みます

例えば、ある小学校で...

本校の重点目標は、ルールやマナーを守る子どもの育成です。「規則を尊重すること」について、各教科など、道徳科以外でも全ての教職員で指導します。



4年生は、学級会で、自分たちできまりをつくり、守る指導をします。



1年生では、生活科で、公園の遊具での遊びを通して、みんなで使うものを大切にするを指導します。

6年生では、社会科で公共について学習する中で、きまりの意義について指導します。



校長

～全ての大人たちの願い～

子どもたち一人一人の豊かな心を育みたい

〔学校教育で養う道徳性〕

道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことをよろこび、悪を憎む感情

道徳的判断力

それぞれの場面において善悪を判断する能力

道徳的実践意欲や態度

意欲は、心情や判断力を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意思の働き
態度は、心情、判断力、意欲に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

〔学校教育で取り扱う「道徳的価値」〕

人間としての在り方や生き方の礎となるものです。学校教育においては、これらのうち、子どもたち一人一人が価値観を形成する上で必要なものを「内容項目」として取り上げています。(下段右を参照)

例えば、「努力」について考えを深める道徳の授業で...



目標に向かってがんばって、うれしかったことや、よかったことはあるかな。

苦手なことを克服して、自分に自信がつけました。

家族や友達が応援してくれたので、がんばろうと思いました。



自分が夢中になれることを見付けることができました。

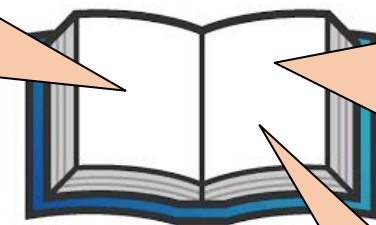
でも、何回も失敗して、あきらめてしまう時もありました。

子どもたちの多様な考えを大切にします

全ての学校、全ての学級で、教科書を使った道徳科の授業を実施します (小学校:平成30年度、中学校:平成31年度)

〔書き込み欄〕

子どもや家族が、自分の思いや願いを書き込むことで、お互いの心を通わせることができます。

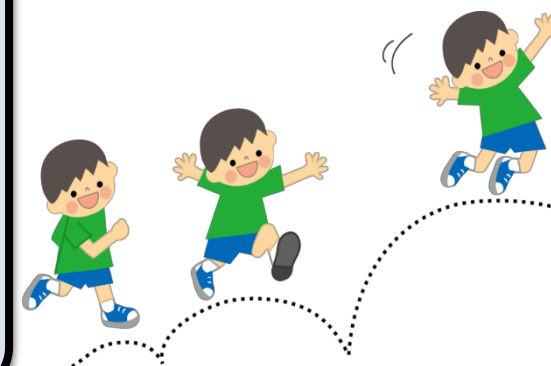


〔読み物教材〕

日常生活を題材にしたお話や、偉人の生き方などに関する内容を掲載します。家族と一緒に読んで、話し合うこともできます。

〔コラム〕

情報モラルやいじめの問題など、子どもたちに考えさせたい今日的话题が掲載されます。



- ・数値による評価や他者との比較は行わず、子どもたちにとって、自らの成長を実感し、意欲の向上につなげるものにします。
- ・教師は、子どもたちの成長の記録を、指導の改善・充実に取り組むための資料として取り扱います。

評価は、学習状況や道徳的心情などの道徳性に係る

成長の様子を継続的に見取ります

※次の資料等を、インターネットの検索サイトでキーワード検索し、閲覧することができます。参考にしてください。

- 道徳教育に係る文部科学省ホームページ：キーワード「文部科学省 道徳教育」で検索
- 小学校学習指導要領（道徳）及び解説：キーワード「小学校学習指導要領 道徳」で検索
- 中学校学習指導要領（道徳）及び解説：キーワード「中学校学習指導要領 道徳」で検索
- 中央教育審議会の道徳教育に関わる審議：キーワード「中央教育審議会 道徳」で検索
- 道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議の報告：キーワード「道徳教育 評価 専門家会議」で検索
- 中央教育審議会の次期学習指導要領改訂に係る答申（平成28年12月21日）：キーワード「中教審 学習指導要領 答申」で検索
- 次期学習指導要領：キーワード「次期学習指導要領 平成29年3月公示」で検索

教師と子どもが共に考えを深める「内容項目」とは...

道徳的価値を含む内容を、短い文章や端的に表す言葉で表現したもの。

- ・自分自身に関すること（善悪の判断、自由と責任など）
- ・人との関わりに関すること（感謝、礼儀など）
- ・集団や社会との関わりに関すること（勤労、家族愛など）
- ・生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること（自然愛護など）

小学校低学年19項目、中学年20項目、高学年22項目、中学校22項目にまとめられています。

